

ISMS マネジメント PRO.net

Automatic Management Review & Improvement : AMRI (アムリ)

ISO27001:2005 対応版!

ISMS・PMSのためのITマネジメントツール

「ISMS マネジメント PRO.net」とは？

ISMS・PMSの構築・運用がらくらく！

- 「ISMS マネジメント PRO.net」は、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）・PMS（個人情報保護マネジメントシステム）の構築及び運用を効率的・効果的に行うためのITマネジメントツール
- ISMS及びPMSに必要な**フレームワークを提供**することによる効率的なシステム構築を実現し、運用段階では**PDCAサイクルを効果的に機能**させ、その**運用記録を体系的に保存**

特徴的な機能は？

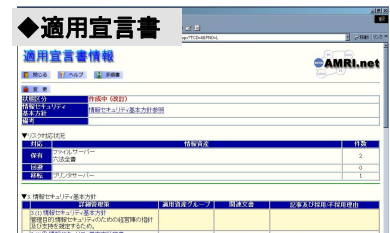
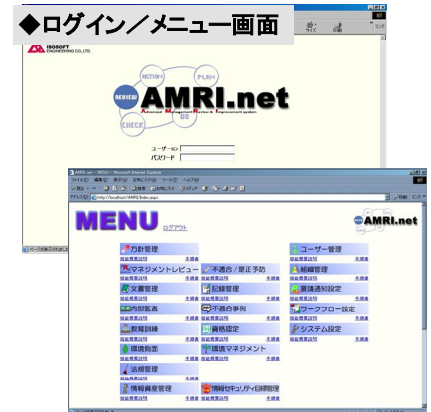
マネジメントレビュー情報をAutomaticに収集！

- ISO27001:2005、JIS Q 15001:2006 要求事項への支援機能（裏面参照）のみならず、ISO9001:2000、ISO14001:2004 要求事項の全般を支援
- 各支援機能からマネジメントレビュー機能への入力情報（議題）をAutomaticに収集し、効果的な経営者レビュー：「見える化」を実現
- 文書管理機能等の全ての支援機能において、**ワークフロー（WFL）**機能を実装しており、**電子承認**での運用を実現
- 組織の規模及び状況に合わせて、支援機能単位での段階的システム導入が可能

導入効果は？

人的コストの削減と情報共有による「質」向上！

- 手作業での運用、並びに複数サイトでの運用における問題点（リスクアセスメント、文書・記録管理が大変、内部監査が効果的・効率的に行えない、第三者審査対応が大変、等）を大幅に解消（**人的コストの削減**）
- 発生したクレーム内容、不適合内容、応急処置、是正処置及びマネジメントレビュー記録等を**独自のノウハウとして蓄積・共有**し、組織内における情報格差を解消、全員参加型での改善活動（**ノウハウの横展開**）を促進（**経営品質の向上**）
- 経営者がマネジメントシステムの運用状況をタイムリーに把握でき、環境・品質・情報セキュリティ等に関するリスクコントロールの的確性を向上
- 環境負荷軽減対策でもある**ペーパーレス**での運用を実現



※「ITマネジメント」とは、積極的に情報技術(IT)を活用したマネジメント手法のことで、弊社固有のキーワードです。

【企画・開発元】



アイソフトエンジニアリング株式会社

名古屋市中区錦一丁目13番33号 福昌名古屋ビル 〒460-0003

Tel 052-203-2811 Fax 052-203-2812

Homepage: <http://www.isosoft.co.jp>

e-mail: isosoft@isosoft.co.jp

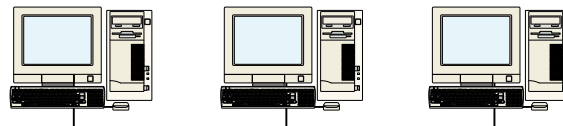


●ISMS マネジメント PRO.net の支援機能一覧

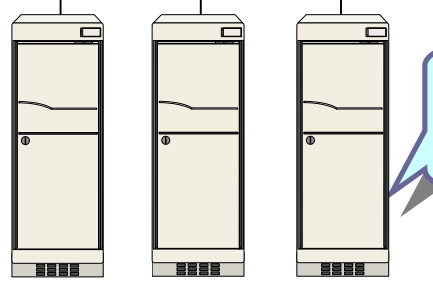
ISO 27001:2005 要求事項	マネジメント PRO.net の機能	JIS Q 15001:2006 要求事項	マネジメント PRO.net の機能
4 情報セキュリティマネジメントシステム 4.1 一般要求事項 4.2 ISMS の確立及び運営管理 4.3 文書化に関する要求事項	●ISMS 管理モジュール	3.1 一般要求事項	
		3.2 個人情報保護方針	●ISMS 管理モジュール
		3.3 計画	
5 経営陣の責任 5.1 経営者のコミットメント 5.2 経営資源の運用管理	●ISMS 管理モジュール	3.3.1 個人情報の特定	●文書管理モジュール
		3.3.2 法令、国が定める指針その他の規範	●ISMS 管理モジュール
6 ISMS の内部監査	●教育・資格モジュール	3.3.3 リスクなどの認識、分析及び対策	
		3.3.4 資産、役割、責任及び権限	
7 マネジメントレビュー 7.1 一般 7.2 マネジメントレビューへのインプット 7.3 マネジメントレビューからのアウトプット	●レビューモジュール	3.3.5 内部規定	
		3.3.6 計画書	
8 改善 8.1 継続的改善 8.2 是正処置 8.3 予防処置	●顧客管理モジュール	3.3.7 緊急事態への準備	
		3.4 実施及び運用	●ISMS 管理モジュール ●文書管理モジュール
付属書「詳細管理策」	●顧客管理モジュール ●レビューモジュール	3.4.1 運用手順	●文書管理モジュール
		3.4.2 取得、利用及び提供に関する原則	●文書管理モジュール
		3.4.2.1 利用目的の特定	●顧客管理モジュール
		：	●ISMS 管理モジュール
		：	
		3.4.2.8 提供に関する措置	
		3.4.3 適正管理	●文書管理モジュール
		3.4.3.1 正確性の確保	●購買管理モジュール
		3.4.3.2 安全管理措置	●ISMS 管理モジュール
		3.4.3.4 委託先の監督	
		3.4.4 個人情報に関する本人の権利	●文書管理モジュール
		3.4.4.1 個人情報に関する権利	●顧客管理モジュール
：	●ISMS 管理モジュール		
3.4.4.7 開示対象個人情報の利用又は提供の拒否権			
3.4.5 教育	●教育・資格モジュール		
3.5.1 文書の範囲	●文書管理モジュール		
3.5.2 文書管理			
3.5.3 記録の管理			
3.6 苦情及び相談への対応	●顧客管理モジュール		
3.7 点検	●内部監査モジュール		
3.7.1 運用の確認	●レビューモジュール		
3.7.2 監査			
3.8 是正処置及び予防処置			
3.9 事業者の代表者による見直し	●レビューモジュール		

●動作環境

【クライアント】
 ・OS
 Windows Vista
 Windows XP
 Windows 2000 Professional
 ・WWW ブラウザ
 Internet Explorer 5.5 SP2 以上



【サーバー】※仮想化 (Hyper-V) に対応済み
 ・WWW サーバー
 OS: Windows Server 2008 (x86, x64)、IIS7.0
 Windows Server 2003 (x86, x64)、IIS6.0
 Windows 2000 Server、IIS5.0
 Windows XP Professional、IIS5.1
 Windows 2000 Professional、IIS5.0
 Microsoft.NET Framework 1.1
 ・DB サーバー
 Microsoft SQL Server 2000、2005、2008
 ・メールサーバー
 sendmail、Microsoft Exchange Server など、SMTP 配信可能なサーバー



OS DB サーバー メールサーバー
WWW サーバー

OS・WWW サーバー、DB サーバー、メールサーバーは物理的に別のサーバーでも動作可能です。